

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

**銲接用直流發電機の勵磁裝置** (11年特許公告第20號、公告11-1-6、東京市、株式會社日立製作所) 此の種發電機に於て銲接始動時に於て流るゝ衝流に依る、障害を防止せんとする目的を以て、直捲界磁線輪に差動的なる分捲界磁線輪回路中に之と直列に挿入されたる抵抗を設け之を主發電機の負荷特性の或値に於て短略するが如き、繼電器を設けたる銲接用直流發電機。

**鐵板の鉛鍍金方法** (11年特許公告第33號、公告11-1-6、從來鐵板の鉛鍍金を平滑且均等に行ふこと能はざりし弊を除去し而も最も簡單なる手段に依りて平滑且均等なる鉛鍍金を容易に行はしめ得る目的を以て、鐵板を送出ロール及ガイドに依りて先づ媒劑液を滲り次に鉛溶液中を通過せしめたる後特に銅製となし下半部を鉛溶液中に廻轉すべからしめたる仕上ロール間に通して絞ることを特徴とする鐵板の鉛鍍金方法。

**電氣熔接機に於ける熔接用鈹支持裝置** (11年特許公告第59號、公告11-1-8、東京市、高木清次、他一名) 常時索條を小容積に收容し置き必要に應じ簡單に之を引伸し重大なる銲接用鈹を極めて輕快に且廣範圍に移動せしめて其作業能率を増進せしめんとする目的を以て、可撓連杆を架構の軌條上に滑動すべく支持せしめ一端に平衡錘を他端に熔接鈹を連結せる索條の前記の可撓連桿に支架せる滑車群に順次に懸架したることを特徴とする電氣熔接機に於ける熔接用鈹支持裝置。

**電弧熔接用直流發電機** (11年特許公告第77號、公告11-1-10、東京市、關澤三吉、他一名) 整流作用を改善し得て電弧熔接に必要な垂下特性を得る目的を以て直流電機に於て主磁極面の中央部に溝を穿ち補極勵磁線輪の一部を此の溝に納め補極線輪の役目をもなさしめ負荷電流の増加につれ主磁極の前半面下の磁束を減少せしむべく發電子には別に勵磁用捲線を置き其の整流子面上に刷子を置き、前記磁束に依り起る電力が前記刷子間に表はるゝ如くし是れに依りて分捲線輪を勵磁し垂下特性曲線を得べくせる電弧熔接用直流發電機。

**骸炭化用粒狀石炭の準備方法** (11年特許公告第111號、公告11-1-13、獨逸國、ドクター、シー、オットー、アンド、カムパー、ゲゼルシャフト、ミット、ベシユレンクテル、ハフツレグ) 製出せらるゝ骸炭の密度を比較的大ならしめんとする目的を以て、各個の石炭片を粉碎し同種又は異種の石炭片の粒子の大きさの比が1:4なるものを主成分とする石炭片の混合物を作り、該混合物中に前記比率の中間範圍の大きさの石炭片を可及的少量だけ存在せしむることを特徴とする骸炭化用粒狀石炭の準備方法。

**タングステンを含む鑛石の處理方法** (11年特許公告第128號、公告11-1-13、大阪府、化學研究所長) 鑛石の選礦を簡單にし又は省略してWの回収を可能ならしめ又W礦と共に錫石を含む鑛石より簡單に錫を含まざるW化合物を得んとする目的を以て、Wを含む鑛石にアルカリ金屬の硫酸鹽を加へて加熱しつゝ水蒸氣を通してWを水に可溶性のアルカリ金屬のW酸鹽となすWを含む鑛石の處理方法。

**海綿鐵製造法** (11年特許公告第129號、公告11-1-13、東京市、向山幹夫) 極めて經濟的に且つ簡單に海綿狀金屬鐵を精練する目的を以て、鐵鑛石と少許の金屬鐵粉と石炭其の他揮發性成分に富める炭素質とを密和し急劇に高温度に加熱し金屬鐵粉の接觸作用に依り石炭等の餽出物を還元性強き瓦斯に變化し其發生期に於て還元作用

を奏せしむることを特徴とする海綿鐵製造法。

**金屬管製造裝置** (11年特許公告第134號、公告11-1-13、東京市、鈴木太吉他一名) 金屬管狀體の成形を正確ならしめ且つ其の銲接を完全ならしむる目的を以て、金屬板を一方の轉子(2)の兩端には鈹(3)を具ふる平轉子(1)(2)間に導通して所要の幅に形成し以て弧面轉子(5)と鈹(7)を有する圓轉子(6)との間に導通して兩側縁に彎曲を施し鈹(11)を有する弧面轉子(10)に依り彎曲板を誘導して之を凹弧面轉子(12)(13)間に導通し其の一方の轉子の中央には壓鈹(14)を設け之に依り金屬板を他方轉子の中央に壓接せしめつゝ對向接合縁(B)(B)を有する管狀に彎曲形成せしめ然る後一方の轉子には誘導鈹(17)を有する仕上圓型轉子(15)(16)に導通して管狀體を成形せしむる如くせる金屬管製造裝置。

**硫酸アンモニア製造裝置の改良** (11年特許公告第156號、公告11-1-15、宇部市、宇部窒素工業株式會社) 飽和器内の硫酸にアムモニア瓦斯を吹込む際に液の循環をして規則正しく均一に且つ旺盛ならしめ以て結晶粒子齊一なる硫酸アムモニアを生成せしむる目的を以て、飽和器の内壁に沿ひて壁と若干の距離を保ちて環狀筒を同心的に垂直に懸垂狀態に備へ飽和器底部と若干の間隙を保持せしめたる硫酸アムモニア製造裝置。

**鐵板鉛鍍金法** (11年特許公告第221號、公告11-1-20、東京市、東京鉛鋼株式會社) 普通熔融鍍鉛法に於て鍍面に發生し易きピンホールを防止し速度を低下することなくして鉛の鍍着量を所望程度に増加し得ると同時に媒劑の附着に依る斑點の發生を防ぎ且溝内に於ける媒劑の凝結に基く疵痕を修整して滑澤無比の鉛鍍鐵板を製造せんとする目的を以て、被鍍鐵板を先づ400°C~450°Cの温度を保てる熔融鉛第一槽中を通して一旦鉛鍍したる後引出し其の温度を失はざる間に引き續き325°C~335°Cの温度を有すを熔融鉛第二槽中を通して仕上げ鍍金を行ふ二段工程を特徴とする鐵板鉛鍍金法。

**熔接用直流直捲發電機** (11年特許公告第227號、公告11-1-20、獨逸國、シーメンス、シュツケルトウエルケ、アクチエンゲゼルシャフト) 熔接廻路に短略發生せる場合に於て自動的に發電々壓が低下し以て短略に依る故障を有効に防止し得る構造簡單なる斯種發電機を提供する目的を以て、對を爲す反對極性の相隣る二磁極毎に一磁極が主補助の二部分磁極に分割せられ之等の一組を爲す、部分磁極の直捲勵磁が差動的ならしめられ且主部分磁極鐵心の飽和度は補助部分磁極鐵心の其れより大ならしめられ而かも負荷の或る値以下の範圍に於ては合成發電々壓が負荷に比例して變化し或る値以上の範圍に於ては逆比例して變化する如く大ならしめられたることを特徴とする熔接用直流直捲發電機。

**熔接現場よりする熔接用發電機の遠隔制御方式** (11年特許公告第244號、公告11-1-20、東京市、株式會社芝浦製作所) 別個の制御導線を設くる必要なく發電機と接續する熔接導線を其の儘制御電路として使用し熔接現場より簡單確實に發電機の電壓を意のままに變化し得る改良遠隔制御方式を得る目的を以て、熔接用發電機と該發電機と之より遠方に置きたる熔接部とを接續する熔接導線に該導線に制御交流を供給する裝置と前記發電機の電壓を昇降すべく前記制御交流の電路中に接續せられたる有極繼電器と前記熔接部の代りに前記熔接導線間に一方向又は逆方向の極性を以て挿入せられ前記有極繼電器を制御する携帶用整流器とより成る熔接現狀よりする熔接用發電機の遠隔制御方式。

**熔接方法** (11年特許公告第290號、公告11-1-24、獨逸國、

一、ゲー、ファルペンインツストリー、アクチエンゲゼルシャフト) 極めて有利に熔接を行はんとする目的を以て、一個の三重炭素結合の外に尙一個の他の三重或は二重炭素結合を含有するアセチレン炭化水素或は夫等の混合物を燃焼瓦斯としてアセチレンの代りに使用する事の特徴とする熔接方法。

**特殊耐蝕合金鋼** (11 年特許公告第 300 號、公告 11-1-24、大阪市、住友金屬工業株式會社) 海水、面硫酸水、硫化水素水、其他の特殊侵蝕性溶液に對する耐蝕性大にして結晶粒間腐蝕なる現象なく且つ高温加工、常溫加工、ともに容易にして比較的廉價なる合金鋼を得んとする目的を以て  $Mo$  0.1~6%  $Cr$  15~25%  $C$  0.25 以下  $Mn$  0.2~2%  $Si$  0.1~1.5%  $Cu$  0.05~1.5%  $P$  0.3% 以下  $S$  1% 以下殘部鐵を含有することを特徴とする特殊耐蝕性合金鋼。

**珐瑯鐵器の製造法** (11 年特許公告第 316 號、公告 11-1-27、大阪市、大島峰次郎) 比較的薄手の鐵板を以て其の得らるゝ製品の強さを丈夫ならしめ又形狀或は大きさの如何に拘らず其容易なる製造を可能ならしめんとする目的を以て、組合せて一體となし得る様且つ突縁を有する數度の部分的鐵板を作り各突縁部に釉藥を拵みて之を組立て其の一端を熔接して一體となし後常法に依り珐瑯面を形せしむることを特徴とする珐瑯鐵器の製造法。

**不銹鋼** (11 年特許公告第 317 號、公告 11-1-27、大阪市、住友金屬工業株式會社) 硫酸、磷酸、硫酸の混和溶液、タール酸、蟻酸、寫眞現像用液、亞硫酸水、硫化水素水、海水等の各殊溶液に對し特に耐蝕性大にして且つ酒、醬油等の食料品に接觸するも變味せしむることなく常溫及高溫度に於て強力なる不銹鋼を得んとする目的を以て  $W$  0.2~8%  $Cu$  0.05~4.5%  $Cr$  16~32%  $C$  0.25% 以下  $Mn$  0.2~3%  $Si$  0.1~2%  $Ni$  1~7% 殘部鐵及不純物を含有することを特徴とする不銹鋼。

**異形煉瓦製作機** (11 年特許公告第 320 號、公告 11-1-27、東京市、金森誠之) 特許第 39,599 號異形ぶるつくの如く設けらるべき孔に對稱なる位置に他の孔を有せざる異形煉瓦を針金を用ひて切断する機械にて製作し得せしめ且出來上りたる目的を以て生煉瓦は乾燥中及び焼成中質の不齊一の爲破損又は龜裂なからしむる煉瓦製作機の口型に所要の孔と同じ斷面を有する錐狀の孔型金物を所要の孔の位置に於て所要の斷面を有する端を口型の出口と一致せしめて取付けそれと稍對稱の位置に粘土壓出に際し孔型金物と相等しき障礙を及ぼし且この金物にて生じたる孔が壓出後消え得る様その端を尖らし口型の途中にその尖端を位置せしめたる障害金物を備へ並びに口型の周圍の水の供給を妨げ側面の摩擦を加減すべき舌狀の板を備へたる異形煉瓦製作機。

**中子用鑄型材** (11 年特許公告第 344 號、公告 11-1-27、東京市、高砂鐵工株式會社) 堅牢にして乾燥迅速に而も鑄造後の砂落容易なる中子を得んとする目的を以て莊油と硼酸  $Mn$  との混合劑を中子砂に適當に混合することを特徴とする中子用鑄型材。

**電氣爐の制御裝置** (11 年特許公告第 351 號、公告 11-1-29 シーメンス、シュツケルトウエンケ、アクチエンゲゼルシャフト) 摩擦して操作不確實となり易く比較的大なる制御電力を必要とし且操作緩慢なる機械的接觸繼電裝置を使用することなく敏速確實に始働加熱電力より規定運轉加熱電力に低下せしめ得る斯種配置を提供する目的を以て電氣爐を制御電極附整流器を介して給電し該整流器の制御回路と加熱溫度に關聯する熱電素とを靜止型急峻電壓變化裝置を介して爐が所定限界溫度に達せる際加熱電力を始働加熱電力規定運轉加熱電力に急峻低下せしむる様接續配置せることを特徴とする加

熱電力を始動的に相應する値より運轉時に相應するものに急峻に變化せしむる場合の電氣爐の制御裝置。

**石炭の液化法** (11 年特許公告第 357 號、公告 11-1-29、東京市、財團法人理化學研究所) 此部分の油の特性を利用する事により高壓水素を高溫度に於て主として石炭の水素添加のみに利用し温合油に對しては比較的反應せしめずして最も容易に石炭を液化せしめんとする目的を以て石炭を水素添加によりて液化するに當り石炭粉末の混合用として石炭の水素添加によりて得らるる液化油中約 200 乃至 300°C にて蒸留せらるる部分の油のみを採集使用する事の特徴とし之を粉末石炭に對し重量比にて 30% 以上を混合して觸媒の存在に於て高温高壓にて反應せしめて液化せしむる方法。

**亞鉛鍍金の際副生するサルアンモニアツクスミングの處理方法** (11 年特許公告第 358 號、公告 11-1-29、東京市、川合秀一) 簡單なる操作に依り色相性狀の優良なる且耐光度強きリトフオン及純粹なる鹽化アンモニウムを製造せんとする目的を以て乾式亞鉛鍍金の際副生するサルアンモニアツクスミングに水及適量の鹽化アンモニウムを加へ亞鉛化合物を鹽化アンモニウム亞鉛の複鹽として溶解せしめ殘滓と濾別し濾液に適量の硫酸アンモニウムを加へ複分解に依りて硫酸亞鉛及アンモニウム性鹽化アンモニウムの混合溶液を生成せしむる工程と上記混合溶液に適量の硫酸バリウム溶液を加へ粗リトフオンをアンモニウム性鹽化アンモニウム溶液中に沈澱せしめ濾別する工程と上記粗リトフオンを水洗後アルカリのチオ硫酸鹽又は同多チオン酸鹽を加へ泥狀體を形成せしめ次に稀薄なる鹽化硫酸若くはアルカリの酸性鹽溶液を以て處理しコロイド硫酸鹽化アンモニウム及硫酸アンモニウムを粗リトフオン體中に均齊に含有せしめ乾燥煨焼して優良なるリトフオンを得る工程と他方濾液なるアンモニウム性鹽化アンモニウム溶液はアルカリ土類金屬の鹽化物を加へ生ずる沈澱と濾別し濾液を蒸發乾涸して純粹なる鹽化アンモニウムを生成せしむる工程との結合を特徴とするサルアンモニアツクスミングの處理方法。

**發炭爐に於ける瓦斯空氣等の切替へ裝置** (11 年特許公告第 366 號、公告 11-1-29、八幡市、相良春一) 一定方向に連續回轉する一個の驅動軸と第一第二の從動軸として三段の切替へを順序良く正確に自動的に行はしむる目的を以て一定方向に回轉する驅動軸 (1) に二種の驅動齒輪 (2) (3) を取付け此等を夫々第一第二の從動齒輪 (4) (5) に齧脱せしめ驅動軸の連續回轉中從動軸 (6) (7) を所期の順序に間歇的に回轉せしめ第一從動軸 (6) の回轉にて例へば奇數番號の瓦斯路を閉ぢ次に第二從動軸 (7) の回轉にて給氣路及排氣路の切替へを行ひ續て第一從動軸 (6) を回轉せしめて偶數番號の瓦斯路を開かしむる如く爲したる發炭爐に於ける瓦斯、空氣等の切替へ裝置。

**防彈鋼** (11 年特許公告第 371 號、公告 11-1-29、仙臺市、金属材料研究所長) 熱間及冷間加工容易にして且つ熱處理に依て適當の硬度及衝擊抗力を具有せしめ從來公知なる  $Ni$ 、 $Cr$  鋼其他の防彈効率大なる合金鋼を得んとする目的を以て  $C$  0.15 乃至 0.35%  $Cr$  5 乃至 15%  $Mn$  0.6 乃至 2.0%  $Mo$  0.2 乃至 1.0%  $Co$  0.5 乃至 2.0%  $Co$  の一部或は全部を  $Pd$  0.2 乃至 1.0% に代ふることを得  $Si$  0.8% 以下殘部鐵を含有する防彈鋼。

**耐酸銅合金** (11 年特許公告第 415 號、公告 11-1-31、東京市、昭和金屬工業株式會社) 耐酸性耐蝕性にして且抗張力に富む合金を得んとする目的を以て  $Cu$  70 乃至 90%  $Al$  1 乃至 10%  $Zn$  5 乃至 15%  $Si$  0.3 乃至 5%  $Ni$  1 乃至 20%  $Fe$  0.1 乃至 2%  $Mo$

1乃至5%を含有せしめて成れる耐酸鋼合金。

**金屬製物體の型入製造法** (11年特許公告第428號、公告11-2-3、東京市、株式會社明電舎) 滑性に富みて而も堅硬強靱なる、軸承金其他の金屬製品を簡易廉價に提供し得べからしむる目的を以て、相互間に瀾散作用を呈する金屬若しくは合金の二種或は二種以上の粉粒乃至は微少片に難熔性滑性資料の微粉末を混和して型に入れ加壓しつゝ加熱し夫等金屬若しくは合金の粉粒微小片を其の相互間の瀾散作用に依りて結合することを特徴とする、金屬性物體の型入製造法。

**弧光爐用電流調整装置** (11年特許公告第451號、公告11-2-3 名古屋、林達夫) 確實且敏速に電氣爐類の電流を調整する目的を以て、電極の電弧電流に依りて勵磁せらるゝ電流電磁石と電弧電壓に依りて勵磁せらるゝ電壓電磁石と是等の電磁石に依りて働作せらるゝ電極昇降器とを備へ弧光爐が定格電壓及び定格電流にて、運轉中は兩電磁石の牽引力相等しくして電極昇降器を働作することなく電弧電流が定格値を越ゆる時は電流電磁石の牽引力強大となり、電壓電磁石回路は遮斷せられて電極を上昇せしめ之に反して電弧電流が定格値以下となる時は電壓電磁石の牽引力の方強くなり電流電磁石回路は遮斷せられて電極を降下せしむべく構成せることを特徴とする弧光爐類の電流調整装置。

**高壓氣體に依る緻密金屬層の生成法** (11年特許公告第459號公告11-2-5、東京市、江澤謙二郎) 無氣孔性にして酸化せざる緻密金屬層を生成し工業的に最も重要なる噴射鍍金屬の用途を開拓せんとする目的を以て、噴射鍍金法に依る金屬層の生成法に於て濕氣油脂塵芥等を豫め除去せる100<sup>lbs</sup>以上の高壓空氣を直徑2~4<sup>mm</sup>の噴射孔を通して金屬の熔融と同時に噴射せしむるに際しH<sub>2</sub> N<sub>2</sub>又はアルゴン等の如き還元性又は不治性瓦斯を前記高壓空氣と同時に前記噴射孔の外周より噴射せしむることを特徴とする高壓氣體に依る緻密金屬層の生成法。

**金屬板の兩端にリーフを一體に鑄造する金型** (11年特許公告第466號、公告11-2-5、大阪府、三好利雄) 輕銀の如き膨脹率大なる金屬を以て斯の如き鑄造をなすに當り其の凝固の際收縮に依れる破損を防止せむとする目的を以て、リーフの内側面の鑄型となるべき金型部分に於て熔融金屬の收縮率に該當する厚みを有する抽拔型を挿脱自在に配設し其外側の鑄型腔を連通せしめたる金型

**Al又は其の合金質品に酸化皮膜を連續して形成せる自動装置** (11年特許公告第467號、公告11-2-5、堺市、合資會社日本電氣被膜研究所) 自動的に同形同大の多數のAl又は其合金質の物品表面に連續して酸化皮膜を形成し且初電解電流を比較的低値に保持し得べき斯種自動装置を提供せんとする目的を以て、通電導子酸化皮膜溶解槽、通電導子洗滌槽、被處理物裝着部、被處理物洗滌槽、酸化電解槽、酸化皮膜形成物洗滌槽、乾燥部及酸化皮膜形成物脱外部を備へ且上記の順序を経て被處理物及酸化被膜形成部を連續して搬送すべき無端連鎖を具へ尙酸化電解槽は2個又は2個以上にして之れに加はる被處理物の搬送方向にあるもの程大となる如くしたるを特徴とするAl又は其の合金質に酸化皮膜を連續して形成する自動装置。

**硫黃製煉装置** (11年特許公告第481號、公告11-2-5、札幌市前野清久) 加熱釜内の氣壓と外氣壓と均衡せしむることに依り外氣の侵入の分壓を低下して硫黃の氣化を促進し之れに依り、燃料を著しく節約し硫黃損失量を減少して其實收率を増大し以て従來有利に處理すること困難なりし低品位の硫黃礦石をも經濟的に處理し得べ

き装置を得んとする目的を以て、加熱釜の下部を可動又は固定の障壁を以て内外の二室に仕切り外室の釜底又は釜底に低き個所に設けたる硫黃蒸汽誘導孔より硫黃蒸氣を直ちに下方に導きて硫黃凝縮罐に入らしめ且つ凝縮罐又は、精製硫黃貯溜槽より加熱釜の上部に廢瓦斯を循環導入すべき誘導管を設けたることを特徴とする硫黃製煉装置。

**錫石の浮游選鑄法** (11年特許公告第490號、公告11-2-5、東京市、三菱鑛業株式會社) 錫石以外の鑛物或は岩石類を抑制して錫石の優先的浮游をなさしめ以て錫鑛中の錫品位を容易に且經濟的に高めんとする目的を以て、錫鑛中の隨伴鑛物及岩石類の抑制劑として鑛石100に對し0.01~0.03のバyro、カテニール又は焦性沒食子酸を添加することに依り該鑛石中に含有せらるゝ隨伴鑛物及岩石類の多量を分離し品位高き錫鑛を選別採收するを特徴とする錫石の浮游選鑄法。

**珪酸鑛物を含む錫石の浮游選鑄法** (11年特許公告第491號公告11-2-7、東京市、三菱鑛業株式會社) 比較的多量に珪酸分を含有する錫鑛より可及的珪酸質鑛物と錫石との分離を容易ならしめ品位高き錫鑛を浮游選別採取せんとする目的を以て、珪酸質鑛物の抑制劑として鑛石100に對し0.005~0.03の蔞酸、酒石酸、琥珀酸、林檎酸、拘攣酸等の植物性多鹽基酸を添加することを特徴とする珪酸質鑛物を含む錫石の浮游選鑄法。

**耐酸性白色合金** (11年特許公告第503號、公告11-2-7、大阪府、廣本日祥) 抗張力及び粘靱性大にして殊に耐酸及び耐アルカリ性大なる鑄造用白色合金を得る目的を以てSi 0.5~10% W 0.1~5% Ni 30~40% 殘餘銅及び其の不純物を含有する耐酸性白色合金

**鐵を主成分とする耐熱硬質合金** (11年特許公告第507號、公告11-2-7、東京市、川那部滿之輔) 熱間硬度高き可鑄性、可鍛性可切削性、不銹性の鐵合金を得る目的を以て、鐵を主成分とし之にCr 33~23%、W 10~2% Ni 5~1% Mo 0.1~2% C 4%以下を含有せしめたることを特徴とする鐵を主成分とする耐熱硬質合金。

**珪砂の精製法** (11年特許公告第509號、公告11-2-7、大阪府新宮新左衛門) 不純物たる有機性炭素質物、石灰質物及鐵粉等を簡易に除去し以て硝子原料に供し得べき精製珪砂を得んとする目的を以て、天然産珪砂に第一工程として振動衝擊又は動搖を附與することに依り其の比重の差を利用して略三層部を形成せしめ比重輕き上層部は有機性炭素質物、石灰質物及粘土質物等を主として含める珪砂なるを以て之を除き又比重重き下層部は鑛酸處理に依りて除去し難き鐵粉を含める珪砂なるを以て之を除き殘れる中層部の珪砂は鑛酸處理に依りて除去し得る鐵粉を含める珪砂なるを以て之を分取し之に第二工程として鑛酸類を以て處理し水洗乾燥せしめて硝子原料として有用なる珪砂として精製する方法。

特許 抜 萃

特許番號	名 稱	特許權者	公告抜萃掲載本誌番號
113,709	押潰し銅線網	肝付兼三	第21年9號
113,662	鑄物用合金	太田福太郎	第21年9號
113,624	埋沒劑	リチャードローガン、コールマン 外一名	なし
113,708	熱處理爐に於ける鋼線酸化防止法	關西製鋼株式會社	第21年8號
113,747	鋼鐵類着色法	川上壽	第21年10號
113,758	金屬mgの製造方法	日本マグネシウム金屬株式會社	第21年10號
113,623	燃料増勢劑	上田由次	なし
113,462	瓦斯及骸炭製造用蓄熱爐	カール、オットー	第21年9號
113,520	出銃口閉塞機	松尾良藏	第21年9號
113,521	Fe又は鐵合金の防蝕處理方法	遠藤彦造	第21年10號
113,662	鑄物用合金	太田福太郎	第21年9號
113,709	押潰し銅線網	肝付兼三	第21年9號